

さくらねこ出張手術マニュアル

目次

1. はじめに P.2
2. 一斉手術までの準備 P.3
3. 会場設営 P.11
3. 手術当日の流れ P.12
4. 手術日必要人員数 P.16
5. 必要備品リスト P.17
6. 継続管理 P.18
7. 報告・自己評価書 P.19



捕獲して



不妊手術をしてサクラ耳カット




元の場所に戻す

1. はじめに

日本では1年間で9万9千匹以上もの猫が殺処分されています。1匹のメス猫は年3回出産し、1回に平均5匹の子猫を産みます。このデータを実証するように行政に引き取られる猫の約7~8割が産まれて間もない仔猫です。どうぶつ基金ではこの現実から考えて、1匹でも多くの猫に不妊手術を施すことが殺処分ゼロを実現するもっとも有効な手段だと考えています。そこで全国の獣医さんや行政、ボランティアの皆さんと協働して毎年数千匹のさくらねこ無料不妊手術を行っています。さくらねこ無料不妊手術事業は、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアさんを支援する事業です。支援内容は「さくらねこ無料不妊手術チケット発行」と「出張手術」の実施です。

「出張手術」では、不妊手術のプロフェッショナル獣医師団と共に、出張手術に伺います。短期間に一斉TNRをすることによって、効果を得られやすい場合に実施されている方法です。

【協働体制役割区分】

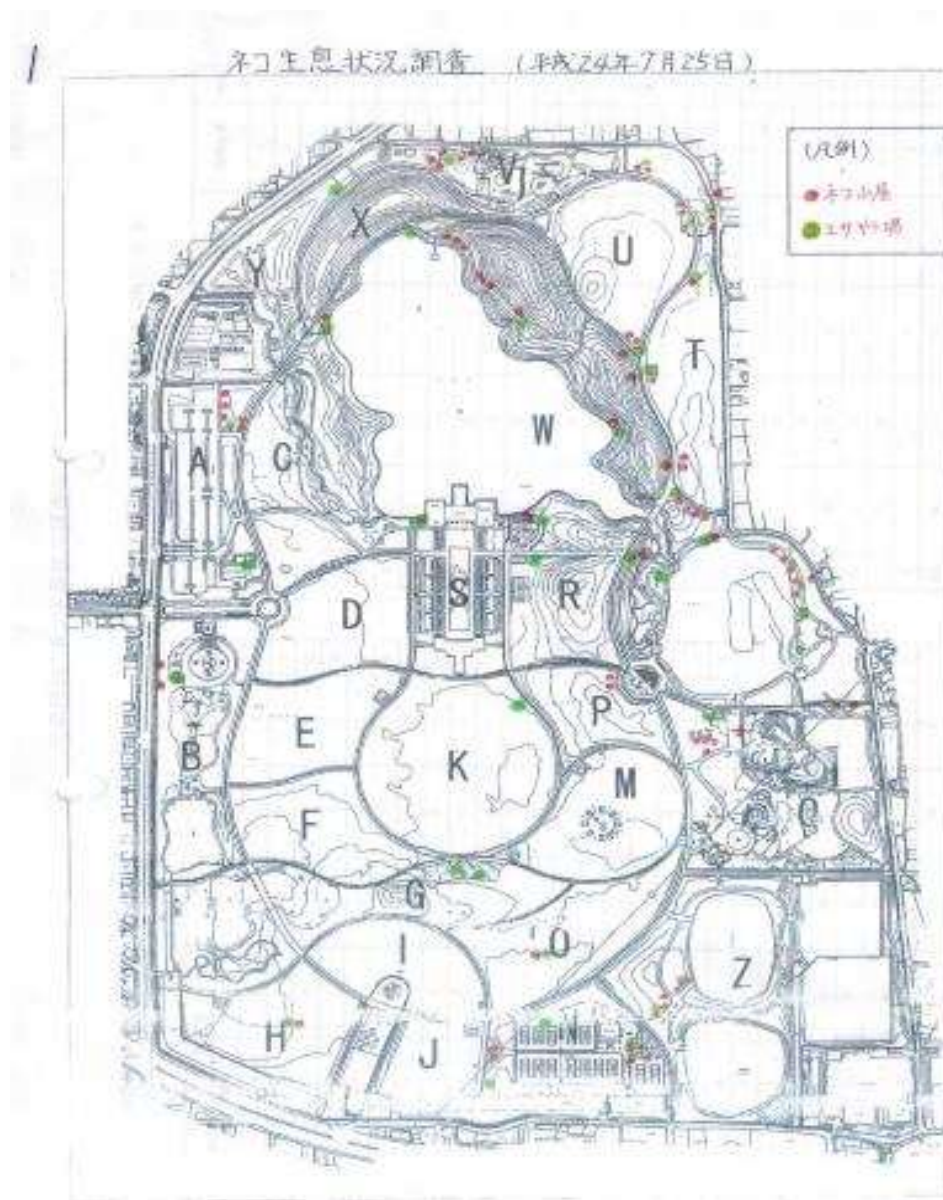
どうぶつ基金の役割	申請者の役割
<p style="text-align: center;">【TNR(手術全般)】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 獣医師の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ー 避妊・去勢手術 ー ワクチン接種 ー ノミ除け薬 • 手術機材の搬入 <div style="text-align: center;">  </div>	<p style="text-align: center;">【TNR(手術以外全般)】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 猫マップ作成 • 手術会場及び猫の保管場所の確保 • ボランティアの確保(捕獲・世話係り・掃除・洗い場など) • 必要とする道具をそろえる。 (掃除道具・筆記用具・捕獲器など) • 猫の世話に必要なものをそろえる (餌・水・器・ペットシートなど) • どうぶつ基金へ事業報告書の提出

2. 一斉手術までの準備

*STEP 1. 猫生息マップの作成

対象地域の猫の生息状況や、行動形態を把握します。

- ① 餌やりさんへのコンタクト（協力を求める。）
- ② 猫の生息している場所、数、餌場、を把握する。
- ③ 猫マップを作成（猫の生息数、場所、状況）



⑧ 大泉緑地 ネコ生息状況調査表

<調査日> 平成 22 年 11 月 4 日 (土)
 <調査日> 平成 21 年 7 月 25 日 (水)

地区	ネコの数		計	ネコの種	餌やり状況	備考
	野ネコ	子ネコ				
A	7	0	7	0	0	A
B	0	0	0	0	0	B
C	1	0	1	0	0	C
D	0	0	0	0	0	D
E	0	0	0	0	0	E
F	0	0	0	0	0	F
G	0	0	0	0	0	G
H	0	0	0	0	0	H
I	0	0	0	0	0	I
J	2	0	2	0	0	J
K	0	0	0	0	0	K
L	0	0	0	0	0	L
M	0	0	0	0	0	M
N	0	0	0	0	0	N
O	0	0	0	0	0	O
P	0	0	0	0	0	P
Q	0	0	0	0	0	Q
R	0	0	0	0	0	R
S	0	0	0	0	0	S
T	0	0	0	0	0	T
U	0	0	0	0	0	U
V	0	0	0	0	0	V
W	0	0	0	0	0	W
X	0	0	0	0	0	X
Y	0	0	0	0	0	Y
Z	0	0	0	0	0	Z
合計	12	0	12	0	0	

地区	ネコの数		計	ネコの種	餌やり状況	備考
	野ネコ	子ネコ				
A	0	0	0	0	0	A
B	0	0	0	0	0	B
C	0	0	0	0	0	C
D	0	0	0	0	0	D
E	0	0	0	0	0	E
F	0	0	0	0	0	F
G	0	0	0	0	0	G
H	0	0	0	0	0	H
I	0	0	0	0	0	I
J	0	0	0	0	0	J
K	0	0	0	0	0	K
L	0	0	0	0	0	L
M	0	0	0	0	0	M
N	0	0	0	0	0	N
O	0	0	0	0	0	O
P	0	0	0	0	0	P
Q	0	0	0	0	0	Q
R	0	0	0	0	0	R
S	0	0	0	0	0	S
T	0	0	0	0	0	T
U	0	0	0	0	0	U
V	0	0	0	0	0	V
W	0	0	0	0	0	W
X	0	0	0	0	0	X
Y	0	0	0	0	0	Y
Z	0	0	0	0	0	Z
合計	0	0	0	0	0	

どの場所は何頭の猫がいるのか、いつ頃出没するのか把握し、捕獲の効率を上げるためには、猫に餌付けしている餌やりさんボランティアさんの協力を得ることが重要です。

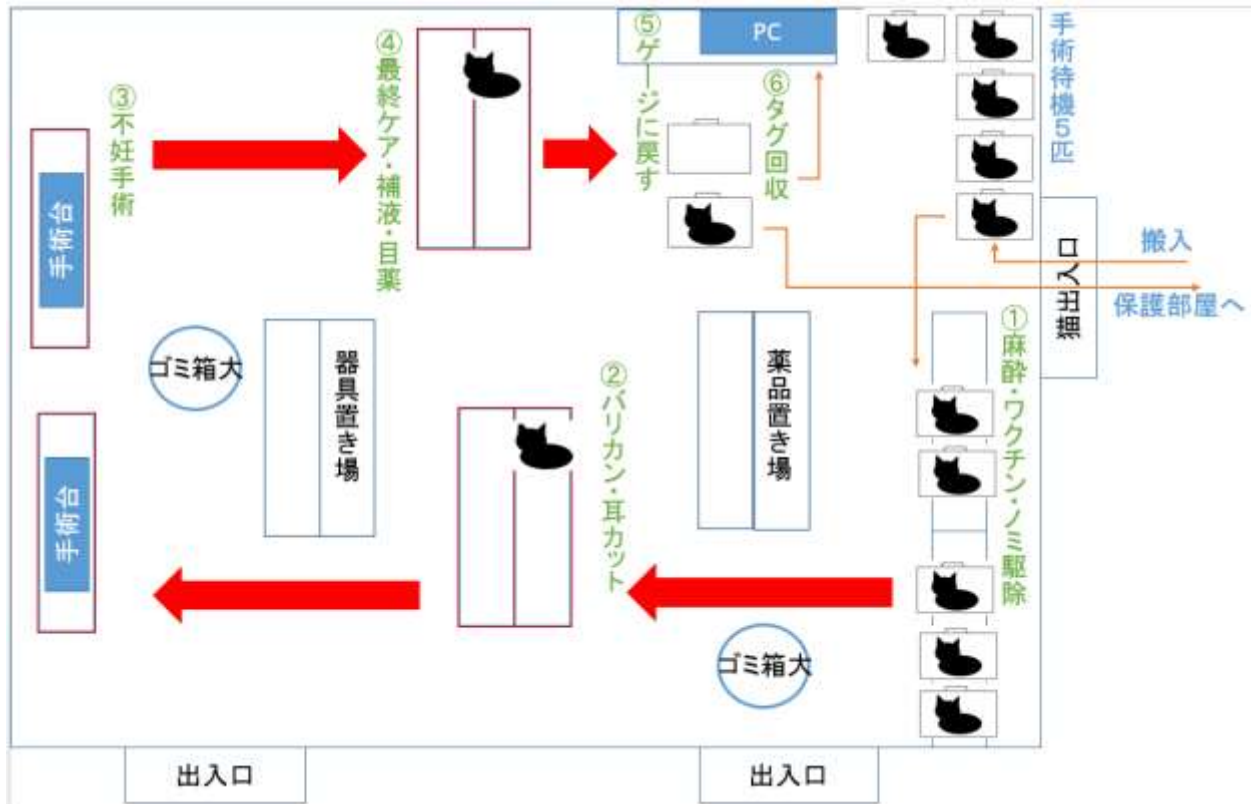
***STEP 2 . 手術会場の確保**





当日手術会場となる広い会場が必要です。

- ・ 大会議室、中ホールなど

1 日中立ち仕事で獣医療を行うため、平らな床で、壁と窓がきちんとあり清潔な空間が必要です。また、また麻酔をした猫の体温管理のためにも夏場や冬場は空調が使用可能な会場が必要です。

会場設営イメージ図（縦 6m、横 7.5mの会場の例）





	机	× 19 (うち6台は机の高さ上げ用)	
		× 2 ポリバケツ45ℓ(尿出しゴミ箱)	
		赤色の机は2段にしてください。	

会場内必要人員

- ・猫の搬入搬出係 2名(保護場から、手術会場に猫を搬入搬出します)
- ・猫のケージ清掃 3名(手術を受けている間に猫が戻るケージを綺麗にし、受け入れ態勢を整えます)
- ・注射準備 1名(ワクチンや抗生剤の準備をします)
- ・麻酔補助 1名(麻酔の補助をします)
- ・毛刈り等手術準備 2名(手術箇所の毛刈りと、耳カットをします)
- ・手術器具洗い 2名(手術が終わったら、器具を洗い、消毒します)
- ・術後ケア 2名(手術が終わった猫のケアを行います)

計 14名(各担当者は終日担当場所から移動しないでください)

机の上にビニールシートを貼ってください

*STEP 3. 猫の保護場所の確保

一斉手術前の捕獲から、手術中、手術後の放猫（リターン）まで、猫を保護する場所が必要です。

- ・ 倉庫 シャッター付駐車場 愛護センターなど
 - ・ 季節によっては、空調が必要です。冬の場合は、毛布を掛ける、ペットボトルにお湯を入れるなど、体が冷えないように工夫が必要です。夏は、熱中症、脱水に気を付ける必要があります。
 - ・ 壁や床には、ブルーシートや新聞を敷き、衛生面への配慮が必要です。
 - ・ 手術の前日までは、お水や餌を与える必要があります。
- ※ 前日の 22 時以降は絶食です。
- ・ 捕獲器やケージの回りを覆うことで、猫は精神的に落ち着きます。



保護場所の例

餌の上げ方（ケージの場合）

100円ショップなどで売っているガーデニング用の給水ボトル等を使用すると便利です



餌のあげ方（捕獲器の場合）

餌を与えるときもペットシートの上に餌を置き、その上に捕獲器を置きます。これで逃げられることはありません。餌に水を多めに足して与えれば水分補給になります。（手術日の前日22時以降は絶食にしてください。）

ペットシートが汚れているときは新しいものに替えます。

餌を置きます。捕獲中の猫は緊張しているので、あまり食べませんが大丈夫です。気にすることはありません。



*STEP 4. 診療所開設届の提出

1日に多くの手術を行う場合や定期的に出張手術を行う場合は、診療所開設届を家畜保健所に提出する必要があります。

【必要なもの】

- ・ 診療所開設届（管轄の家畜保健所の書式による）
- ・ 獣医師免許のコピー（どうぶつ基金から送付）
- ・ 会場見取り図

会場が決定したら、管轄の家畜保健所に診療所開設届のフォーマットを貰います。開設届を作成する際に、獣医師の獣医師免許のコピーが必要になるので、どうぶつ基金からコピーを送ります。

*STEP 5. 捕獲をするための準備

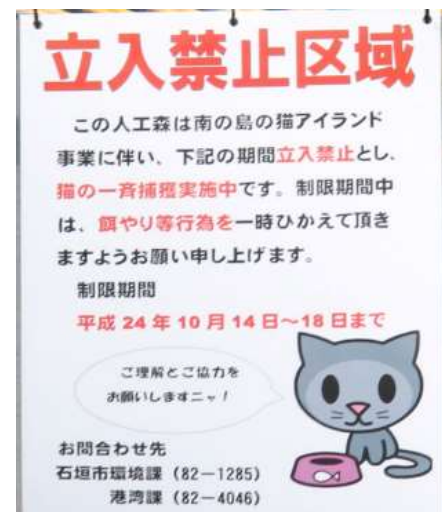
① 餌やりさんへの呼びかけ

（お腹が一杯だと猫が捕獲器に入りません。

捕獲予定日の2日前位から餌を与えないようにして
らいます。直接の声掛けやポスター等の掲示）

② 捕獲器を用意する。

（動物管理センターや地元愛護団体に呼びかけ頭数分
用意）



③ 捕獲器の数だけ風呂敷サイズの布を用意する。

(猫が捕獲器に入ると暴れたりしますが、布をかぶせ暗くすると落ち着きます。)

④ 捕獲場所が分かるように、猫マップにしたがって捕獲器に管理タグをつけます。

(タグには、①捕獲場所、②捕獲日、③その他特記事項(あれば)を記入します)

*STEP 6. 捕獲

① 捕獲器にタグを付ける(日付と捕獲器設置場所を記入)

② 捕獲器に餌を設置します。(から揚げやちくわなど臭いの強いものが効果的です。また、捕獲器の少し手前に誘導の餌を置くと効果的です)



③ 猫が捕獲器に入ったら、ロックが下りているか確認します。ロックとケージを紐などで結んでおくと、より安全です。

捕獲後は、まずロック金具が下に降りていることを確認します。左の写真はロックが上がったままで開いています。
右の写真はロック金具が下りています。これで開くことはできません。



- ④ 捕獲器の中では不安で暴れてしまうので、
布をかぶせ落ち着かせます。



STEP 7. 手術前日 22 時以降は絶食

全身麻酔の副作用として吐き気をもよおすことがよくあり、胃にもものが入っていると気管が詰まって窒息してしまう恐れがあります。手術前日の 22 時以降は絶食を徹底してください。

3. 会場設営

ブルーシートを床と、壁約 1mに張り、衛星面を確保します。

どうぶつ基金スタッフによる会場設営は、手術台等の設置になりますので、それ以前にブルーシート敷きなどの事前準備をお願いいたします。



4. 一斉手術当日の流れ

手術の流れ

1. 手術開始前に朝礼を行います。

行政職員の方、ボランティアさん、どうぶつ基金スタッフ、獣医師、全員参加し朝礼を行います。



2. 猫に手術用の管理タグをつけます

手術室に入る前に、猫一頭一頭に管理タグをつけます。



3. 手術準備

管理タグがついた猫を手術会場に搬入し、安定剤、麻酔、抗生剤、ワクチンを注射していきます。



4. 耳カット毛刈り・ノミ駆除

手術する前に、毛刈りをします。

ここで、みみ先カット（さくら耳）とワクチン、
ノミ駆除（レボリューション）もします。



5. 不妊去勢手術

不妊去勢手術をします。



6. 術後ケア

手術が終わった猫には、補液、目薬、耳掃除、
手術跡を消毒して綺麗にします。



7. 手術器具洗い

1頭の手術が終わるごとに器具を丁寧に洗います。



8. 消毒

洗い終わった、器具を消毒します。



9. タグ管理

手術が終わった猫のタグを回収し、オスメスや処置内容を記録していきます。



10. ケージの準備

猫が手術を受けている間にケージまたは捕獲器を清掃して、猫を受け入れる準備を整えます。



11. 安静

手術が終わった猫は保護部屋に戻り
麻酔から覚めるまで一晩安静にします。



12. リターン

手術翌日または翌々日、捕獲された
場所に猫を戻します。



4. 手術日必要人員数

- ・猫の搬入搬出係 2名（保護場から、手術会場に猫を搬入搬出します）
- ・猫のケージ清掃 2名（手術を受けている間に猫が戻るケージを綺麗にし、受け入れ態勢を整えます）
- ・麻酔補助 2名（獣医師が麻酔等を注射する補助をします）
- ・毛刈り等手術準備 2名（手術箇所の毛刈りをします）
- ・手術器具洗い 2名（手術が終わったら、器具を洗い、消毒します）
- ・術後ケア 2名（手術が終わった猫のケアを行います）

計12名ほどお手伝いをお願いいたします。

※ **必ず手術会場に申請者である行政職員の担当者の方が常駐してください。**

その他事前にご検討いただきたい内容

- ・耳掃除と爪切りをボランティアさんが希望される場合は、麻酔が効いている間に処置していただくことが可能です。その場合は、耳掃除用の綿棒と、爪切りの用意をお願いします。
- ・手術できない子猫が保護される場合もあります（目安として500～700g以下）。
その場合の子猫の保護をどのようにするかあらかじめご検討をお願いします。
- ・メス猫が妊娠していた場合、墮胎処置となります。

その際の、胎児を入れる箱（クーラーボックスや段ボールなど）と、その後の処置もご検討とご準備をお願いします。

5. 必要備品リスト

名称	調達先	数量	チェック	備考
猫の捕獲に必要なもの				
管理タグ				いつ、どこで捕獲されたか管理
捕獲器				頭数分
捕獲用餌				から揚げなど臭いの強いもの
布				捕獲後、捕獲器を覆う用
猫の保護管理に必要なもの				
ペットシート				頭数分×(手術日数+3)以上
新聞紙				敷き用
ブルーシート				保護部屋面積分
水入れ				頭数分
餌				
ケージ(捕獲器で代用する場合も有)				頭数分
子猫用粉ミルク、離乳食				子猫が保護されるケースに備え
手術会場必要なもの				
ポリバケツ 45L		2		
ゴミ袋 45L				
長机		7~15		
クーラーボックスまたは冷蔵庫		1		ワクチン冷蔵保存用
保冷剤				クーラーボックスの場合
空きペットボトル 2L		3		使用済み注射針保管・廃棄用
ブルーシート				手術会場の面積分
ティッシュペーパー				
キッチンペーパー				
油性赤マジック		10		
養生テープ		3		
掃除道具				
ほうき				
ちりとり				
掃除機				
雑巾				
洗剤				
タワシ・スポンジ				
キッチンペーパー(多めに)				

6. プレスリリース

一斉手術は、イベント性が高く、メディア取材も入りやすい事業です。メディアに取り上げてもらうことで、ノラ猫の問題や TNR に関心が無い人や、ノラ猫問題に困っているが解決策を見いだせずにいる自治体への貴重な広報の機会になります。また、該当の地域では、ノラ猫問題に取り組むボランティアや行政の目があり、捨て猫をしにくい地域であるという認識と、飼い猫には不妊手術を行うべきであるという民意の向上をはかるチャンスでもあります。

積極的に、広報やプレスリリースにご協力お願い申し上げます。

7. 診療所閉所届の提出

出張手術が終わったら、閉所届を家畜保健所に提出します。継続的に出張手術を実施する場合は、提出はせず、獣医師が変更になる場合のみ、獣医師の変更届を提出します。

8. 継続管理

TNR は継続して管理することが非常に重要です。

一旦 TNR を頑張っても、そのまま放置してしまうと約5年で元の木阿弥に戻ってしまいます。どのように、猫を管理するのか、さくら猫ではない猫を発見した場合どう対応して TNR を行うのか、方針を決め実行してください。



10. 捕獲器の返却について

使用した捕獲器には、パルボなどの死に至る病原菌が付いている可能性があり、病原菌を他の地域に運んでしまう可能性があります。

したがって、返却時には完全消毒のうえご返却ください。



【返却手順】

- ① きれいに洗う。（洗剤とブラシで糞尿や残らないように）
- ② 消毒・殺菌を行う。（ビルコン、次亜塩酸など）
- ③ 水洗いをする。（消毒薬が残っていると錆が出ます）
- ④ きっちり乾燥させる。
- ⑤ 壊れていないかチェックする。
- ⑥ 借用表を作成 1) 借用台数 2) 破損台数 3) 紛失台数 4) 最終返却台数
（破損した捕獲器は分かるようにまとめ、破棄せず返却してください。）

9. 報告・自己評価書の作成

約2カ月以内に、報告書を作成し、どうぶつ基金へ提出してください。

郵送いただく前に、一旦メールにてどうぶつ基金に送付ください。

報告書の記入例は、別紙「さくらねこ不妊手術事業活用マニュアル」をご参照ください。